



教育研究所だより

令和4年度 No.2 (396号)

令和4年 5月 18日(水)

発行所:いの町教育研究所

前向きな話し合い 菊池学園担当者部会



4月28日(木)、伊野公民館で第1回菊池学園担当者部会を行いました。この部会の目的は、各学校の菊池学園担当者がこの事業への理解を深め、その内容を各学校の校内研修等でいかすことです。年3回の部会を予定しており、今回はその1回目でした。

「失敗してもいいから、とにかくやってみましょう」と語る藤本教諭(中央)



新役員

部長:藤本 駿 教諭(伊野中学校)

副部長:國廣 ゆか 教諭(伊野南中学校)



研究所からのお願い



菊池学園公開授業後、指導案(修正済みのもの)および事後研究の記録(A4用紙1枚程度)を研究所まで送付してください。学校で作っている形式でかまいません。それらをまとめ、昨年と同様に指導案集を作ります。ご協力よろしくお願いします。

事後研究の記録に書いて欲しいこと

- ①授業者のコメント
- ②参観者の感想等
- ③菊池先生の授業に関するコメント

※学校版寺子屋については、研究所でまとめます。



各学校の菊池学園担当者

情報共有会

先生方は3つのグループに分かれ、各グループで「菊池学園プラン」をもとに情報共有をしたり、小中連携の取組について計画を立てたりしました。写真はその様子です(先生方の感想より抜粋)



同じ校区内の学校の取組を理解し、9年間を見通して子どもと関われるように。

価値語や成長ノートは手段。ゴールは「自分らしさが発揮できる授業づくり」



子どもの発信力を高める取組を、小中連携でやっていく。

取組のチェックだけにならないように。何を目的にしているかを見失わないようにしたい。



その他

Q.学校で共通理解を深めるには？
A.各園・学校に配布する「教育研究所のしおり」P.2～P.9「教育長あいさつ」や「菊池先生講話」を参考に、職員研修で読むなどして、共通理解を図ってください。

Q.菊池学園事業について支援が欲しいです。
A.要請があれば、相談・支援に伺います。どうぞお気軽に教育研究所にご連絡ください。連絡先はこのたよりの下に記載しています。

研究所より

お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございました。皆さん、各学校の担当者として情報共有し、「出席者ではなく参加者」だったところが素晴らしいと感じました。

また、事務局への質問やご意見もいただきました。ありがとうございました。「やってよかった」と思える取組にしたいです。皆さんと一緒に事業を進めていきましょう。

いの町教育研究所

TEL;088-893-1922

(いの町教育委員会内)

088-893-0255

(資料センター)

FAX:088-893-2121

(いの町教育委員会内)

LGメール:ino-l@town.ino.lg.jp

教育支援センター「のぞみ教室」

TEL:088-850-4556

088-850-4560

